

平成 31 年度 併設校 AO 入試 総合考査 問題用紙【保健医療学部】

試験時間：60分

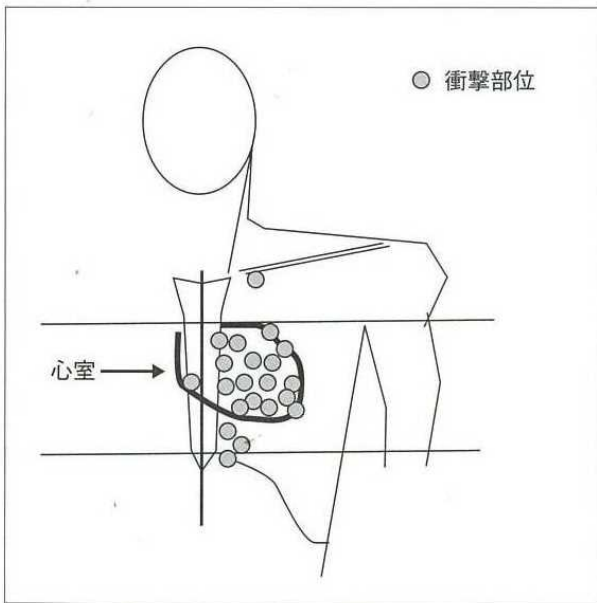
.....
しんぞうしんとう
心臓震盪について

心臓震盪とは、「前胸部に加えられた機械的刺激により発生した心停止」のことである。典型的経過は、野球の守備で取り損ねた打球を胸に受けた。落としたボールを拾って送球しようとした頃に、突然倒れ、心停止に至っていたというものである。胸部への衝撃部位は、心臓の直上に一致して多い(図 1)。胸部への衝撃手段としては、野球等のボールが多い(表 1)。発症年齢は、18 歳以下の若年者に多い疾患である(図 2)。この事を踏まえ以下の問いに答えよ。

問 1. 心臓震盪発症後の対応 (応急手当) について述べよ。

問 2. 心臓震盪を発症したことのある選手がスポーツをする場合の予防・対策について述べよ。

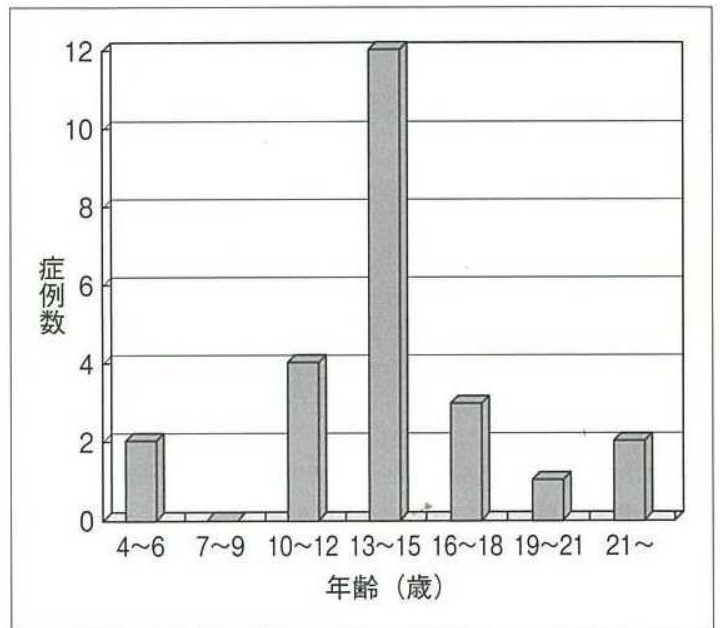
〈図 1：胸部への衝撃部位〉



胸部への衝撃部位 (Maron, B. J. et al. : J. Cardiovasc. Electrophysiol. Vol.10, 1999 より引用)

前胸部に野球のボール、ソフトボール、アイスホッケーのバック、ラクロスのボール、膝が衝突した部位を示している。心室の直上に一致して多いことがわかる。

〈図 2：発症年齢（国内例） 24 例〉



〈表 1：胸部への衝撃手段（国内例）〉

衝撃手段	症例数
野球のボール(硬式)	8
サッカーボール	3
野球のボール(軟式)	2
ソフトボール	2
バスケットボール	1
墜落による胸部打撲	1
柔道投げ技による背部打撲	1
タックル(アメフト)	1
金属バット	1
拳(少林寺拳法)	1
肘(喧嘩の仲裁)	1
手のひら(兄弟喧嘩)	1
交通事故による胸部打撲	1
合計	24例